

9月9日(水曜日)「真の幸福の教え(5)」

【新改訳 2017】

マタイ 5.7

「あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受け
るから。」

「あわれみ」ということばは、一般的にはあまり好きになれないかもしれませんが、しかし現実の人生においては、とても重要で不可欠なものです。辞書によれば、原語では、慈悲、同情、困窮している者や悩める者に対する親切や善意、またそこから救済したいと思う願望や行為を意味しています。主は、このような心と行いのある人は幸いですであると言われました。その人こそ、あわれみを受けるからだということです。

ある年の国民意識調査で、「他人のことは、自分にゆとりができたならやるかもしれないが、まず自分のことを」と答えた人が大部分だったと報告されました。それでいてなお、人は自分が困窮するとあわれみを求めます。しかし、思うように得られません。実は、自分があわれみ深くある

ことが先なのです。神は、そのような人を豊かにあわれんでくださると言われます。

～祈り～

主よ。私たちは、あわれみを受けることを望みますが、それを表すことを望まない者です。どうか、あわれみ深い者にしてください。

【学びのために】

「あわれみ」について:言語では、「窮状にある人々に対する同情の念」。しかし、新約聖書では、人間の救いの約束に対する神の真実な愛を言い表します(『新聖書辞典』)。